

Press Release

平成27年3月24日

「インターネットによる住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動に関する第9回調査」 について

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会

一般社団法人住宅リフォーム推進協議会(会長:吉田 忠裕)は、このほど「インターネットによる住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動に関する調査」を行いました。本調査は、住宅リフォームの潜在需要者の意識と行動の実態を明らかにするとともに、潜在需要の顕在化に有効な方策を検討するための基礎資料を得ることを目的として、平成13年度から行っている調査で、今回で9回目となります。

第6回調査までは、正会員、特別会員のご協力をいただき調査を実施してまいりましたが、第7回調査からは調査会社を通じて対象者を抽出し、調査を行う手法に変更して実施しています。今回の調査結果の特徴は、以下のとおりです。

■ 調査結果の特徴

I. 一般層のリフォーム需要（予備調査※1より）

※1 持ち家に居住する30歳以上の男女(10,000件)を対象としたインターネットによるアンケート調査

1. リフォームの潜在需要が大きいのは 50 才代

30才以上の持ち家居住者の全体の56.0%が“リフォームをしたい”と回答している。年代別にみると、50才代では“リフォームしたい”が66.5%、“10年以内にリフォームしたい”が19.7%となるなど、他の年代に比べ50代がもっともリフォーム意向が強くなっている(図1参照)。

II. リフォーム需要者の意識と行動（本調査※2より）

※2 予備調査で「10年以内にリフォームしたい」と回答した約1,600件から人口構成比に応じて割付抽出した1,000件

1. リフォーム予算は、平均で戸建て約300万円、マンション約240万円

リフォームの予算は、50万円未満から100万円以上まで非常にバラツキが大きいですが、件数で見ると“100万円～300万円未満”の層が最も多く、平均値で見ると戸建て295万円、マンション237万円となる(第7回調査、第8回調査の結果と比較的似た水準)(図2参照)。

2. 戸建て住宅の場合、30才代で“親の家”をリフォームするケースが多い

全体では、本人名義の家をリフォームするケースが多いが、年代別に見ると、特に30代の戸建てでは、本人名義の家ではなく、“親の家”をリフォームするケースが多い(図3参照)。

リフォーム予算の平均も30才代は約345万円と、他の年代よりも予算規模がやや大きくなっている(図4参照)。

3. リフォームの動機は“設備の更新”が多く、“設備関連”は築後20年未満での工事が多い

リフォームの動機としては、戸建て、マンションとも“設備や機器の老朽・グレードアップ”が最も多い(図 5 参照)。

具体的な工事の場所としては、“浴室”、“洗面・トイレ”などが多いが、マンションではこれらの水回り関連の工事は、築後 20 年未満で検討されているケースも多い(図 6 参照)。

4. 地方圏の“古い戸建て住宅”では“今の家に長く住み続けたい”という動機が多い

戸建て住宅について地域別にみると、“中国”や“信越・北陸”などでは、比較的古い住宅の占める比率が高くなっており(図 7 参照)、これらの地域は他の地域に比べ、リフォームの予算も高くなっている(図 8 参照)。これらの地域では、“今の家に長く住み続けたい”、“高齢者対応”といったリフォーム動機も多く、地方圏では“古い住宅をリフォームし長期間住み続ける”というニーズも大きいことが読みとれる(図 9 参照)。

5. リフォームに対する不安としては、依然として“費用”への関心が最も高い

リフォームに際しての不安は、“見積り相場の相場や適正価格がわからない”という回答が最も多く、前々回、前回の結果と比較しても、依然として費用への関心が高い。次いで、“施工が適正に行われるか”、“いろんな業者特徴を比較しにくい”といった業者に関連する不安も多く、“業者選びが面倒そう”、“業者選びの手続きがよくわからない”などの比率が上昇している(図 10 参照)。

6. 業者情報の入手先は、インターネットのウエイトがさらに増加

前々回、前回の結果と比較すると、業者情報の入手先としては“いつも工事を依頼している業者”の比率が下がり、“インターネット”の比率がアップしている(図 11 参照)。

また、業者選びの重視点としては、“担当者の対応・人柄”、“要望に対する理解力”など比率がやや上昇しており(図 12 参照)、幅広く情報を集め、より希望に添ったリフォームを行いたいという姿勢が強くなっていることがうかがえた。

■ 調査概要

目的:住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動の実態について明らかにする

実施時期:平成 26 年 10 月 1 日～10 月 10 日 ※予備調査に引き続き本調査を実施

対象:(予備調査)持ち家に居住する 30 歳以上の全国在住男女 10,000 件

(本調査) 予備調査で「10 年以内にリフォームしたい」と回答した約 1,600 件から
人口構成比に応じて割付抽出した 1,000 件

調査手法:インターネットによるアンケート方式

本件に関する問合せは下記までお願いします。

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会 担当:安井
TEL 03-3556-5430 FAX 03-3261-7730
〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2
ステージビルディング 4F

(参考資料)
 関連グラフを掲載

I. 一般層のリフォーム需要 (予備調査より)

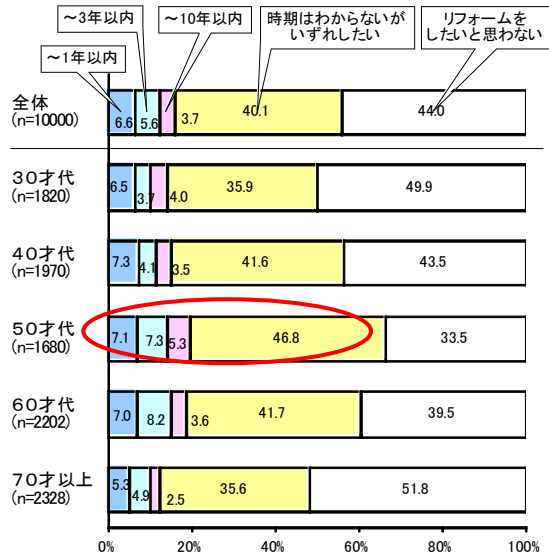
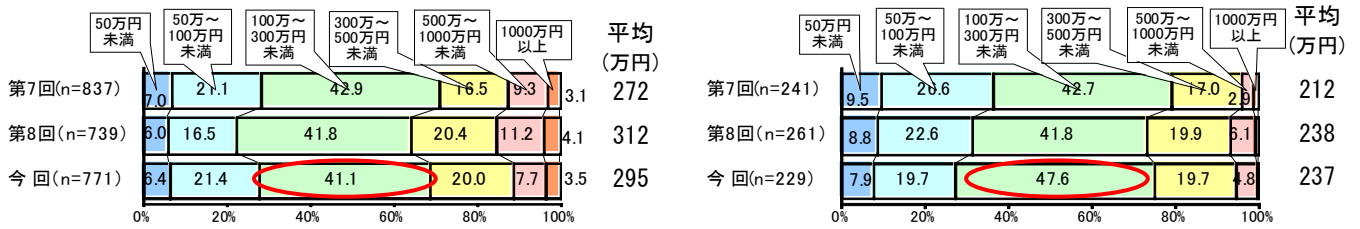
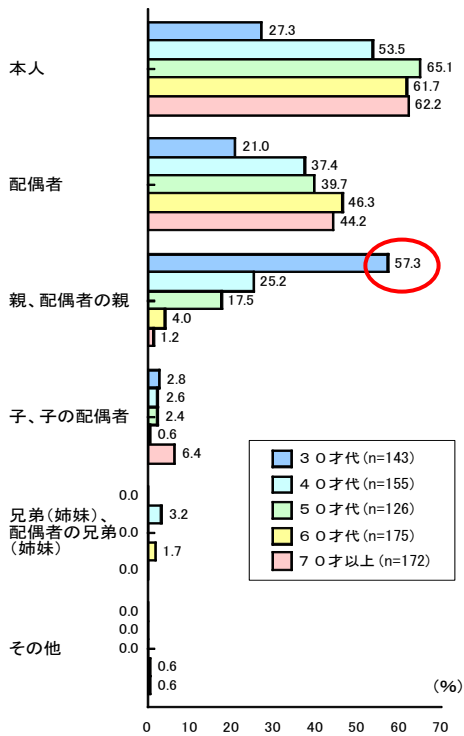


図1 リフォーム意向の時期

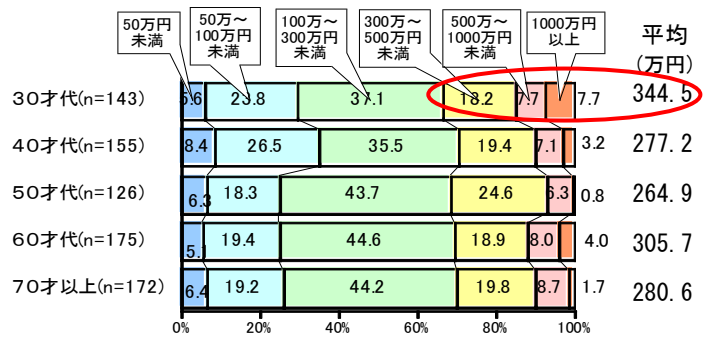
II. リフォーム需要者の意識と行動 (本調査より)



【 戸建て 】 【 マンション 】
 図2 リフォームの予算 過年度の調査結果との比較



【 戸建て 】
 図3 住宅の名義 年別 (複数回答)



【 戸建て 】
 図4 リフォームの予算 年別

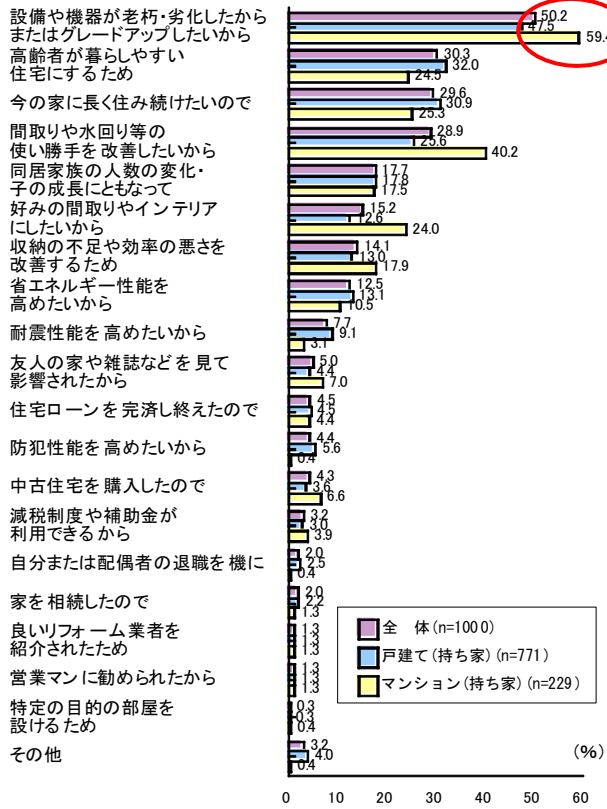
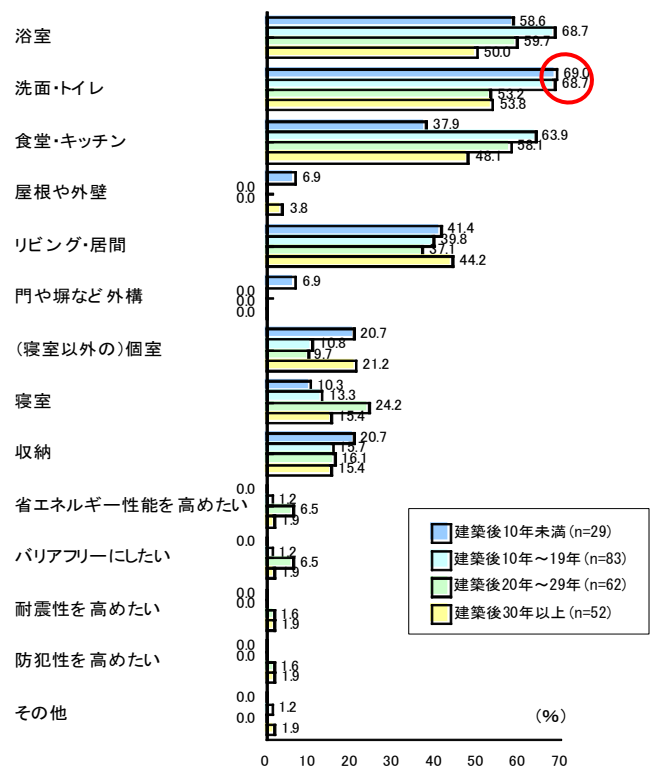
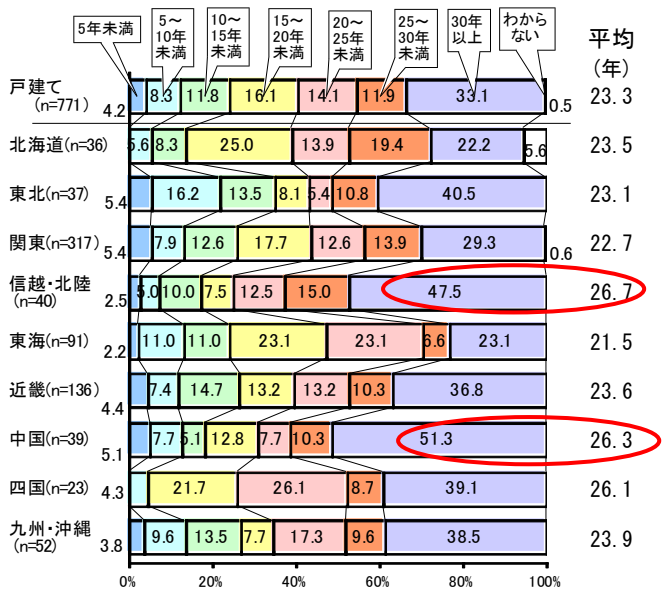


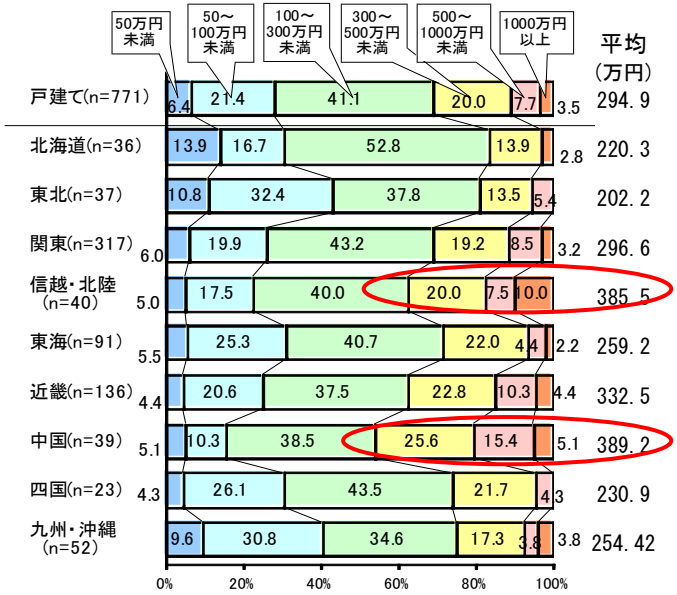
図5 リフォームの動機(複数回答)



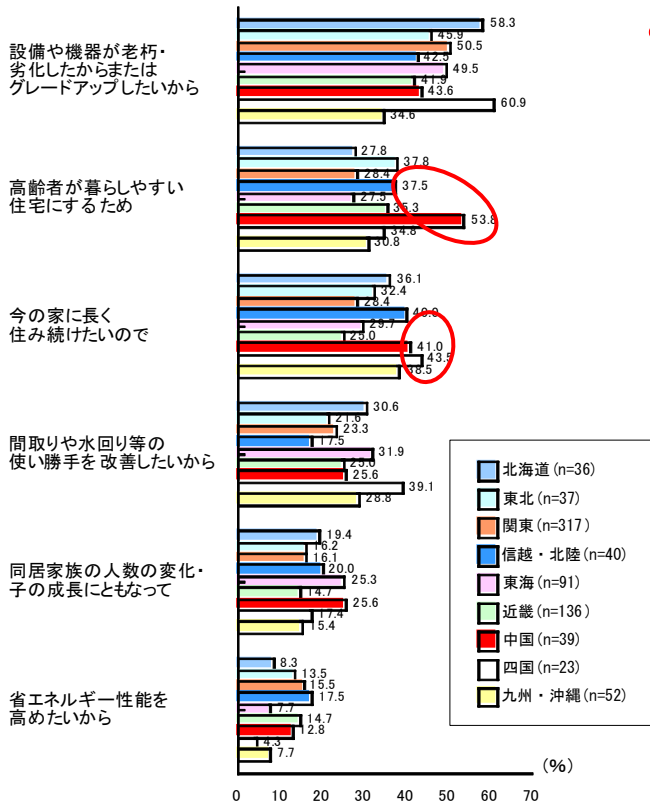
【 マンション 】(複数回答)
図6 リフォーム検討中の場所 築後年別



【 戸建て 】
図7 住宅の築後年数 地域別



【 戸建て 】
図8 リフォームの予算 地域別



【 戸建て 】
 図9 リフォームの動機 地域別
 (上位6位まで) (複数回答)

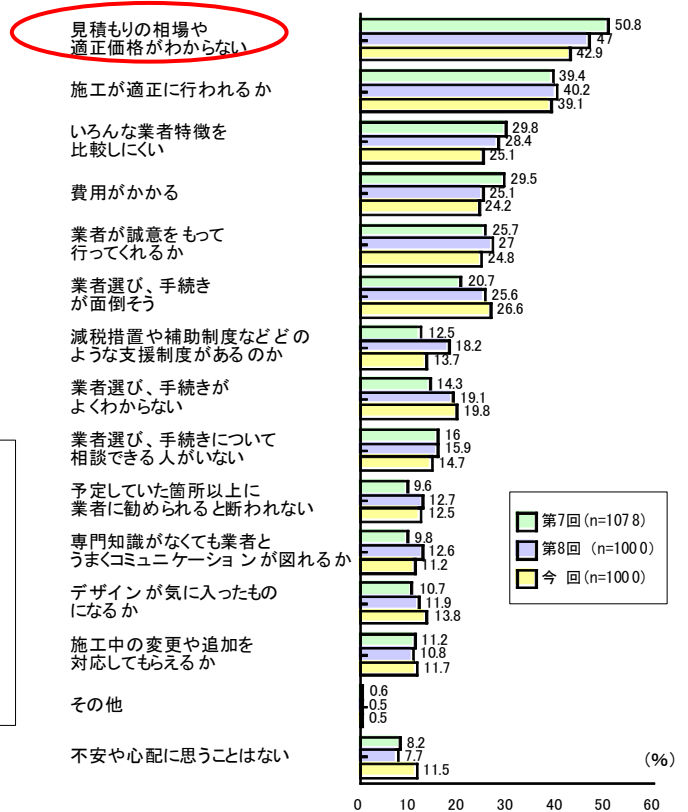


図10 リフォームの際の不安や心配事
 過年度の調査結果との比較 (複数回答)

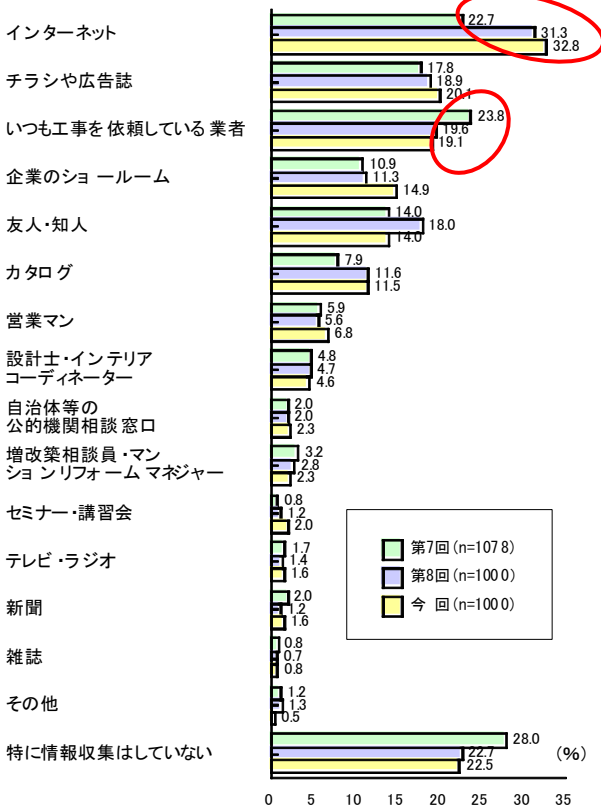


図11 業者情報の入手先
 過年度の調査結果との比較 (複数回答)

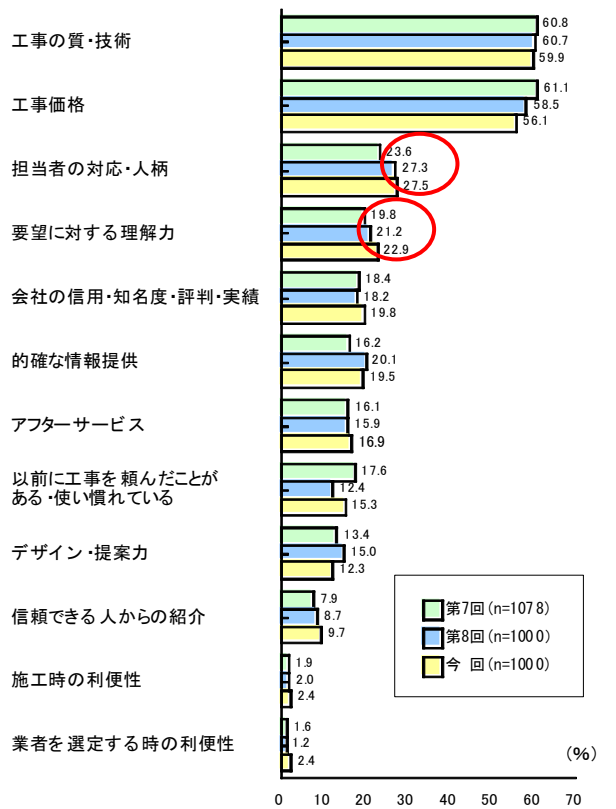


図12 業者選びの際の重視点
 過年度の調査結果との比較 (3つ以内で回答)